

### 第3回鶴岡市介護保険事業計画等策定懇話会 会議録

- 日 時 令和3年1月26日(火) 午後1時30分～午後2時50分
- 会 場 鶴岡市勤労者会館 大ホール
- 審議事項 (1)第8期介護保険事業計画の素案について  
(2)第8期介護保険事業計画等の給付見込みと保険料(案)について
- 出席委員(敬称略)  
小林達夫、渋谷広之、福原晶子、清野肇、成田英俊、吉野進、佐藤豊継、菅原斉、  
岩浪武司、鎌田剛、井上純子、皆川芳昭、長澤祐子、伊藤貫正、丸山洋子、五十嵐一美  
中嶋悦、秋庭知典
- 欠席委員(敬称略)  
齋藤邦夫、篠田太朗、深澤一雄、三浦瞬
- オブザーバー(敬称略)  
佐藤規子(地域包括支援センター)
- 市側出席職員(事務局)  
健康福祉部長 渡邊健、長寿介護課長 天然せつ、長寿介護課長補佐 加藤早苗、  
長寿介護課主査 長谷川洋子、五十嵐信子、石井美喜、同課高齢者支援専門員  
上林一志、佐藤文子、同課主任 高橋宏知、同課主事 工藤徳将、  
地域包括ケア推進室長 佐藤清一、同室調整専門員 佐藤正、帯谷友洋  
藤島庁舎市民福祉課長 長谷川郁子、羽黒庁舎市民福祉課長 佐藤美香、  
榎引庁舎市民福祉課長 前田郷子、朝日庁舎市民福祉課長 成沢真紀、  
温海庁舎市民福祉課長 武田綾子
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 2名

#### 1. 開 会

#### 2. 挨拶 (健康福祉部長)

#### 3. 協議事項(議長:会長)

##### (1) 第8期介護保険事業計画の素案について

(説明: 資料1 五十嵐 長寿介護課主査、石井 長寿介護課主査、高橋 長寿介護課主任、  
加藤 長寿介護課長補佐)

- 委 員 10 ページ、基本目標Ⅱの基本施策1は「介護予防・健康づくりの推進」となっているが、16 ページのⅡ-1は「健康づくり・介護予防の推進」となっているが、何か意味があるのか。

- 事務局 10 ページの記載が誤りで、健康づくりが先になる。合わせて、10 ページの「Ⅰ 地域のつながりを深めるために」の基本施策3の「医療・介護・健康・福祉の連携」との記載は誤りで、正しくは「医療・介護・保健・福祉の連携」となるので訂正願

いたい。

- 委員 13 ページの在宅医療・介護連携推進事業については、7 期計画までは 8 つ目に関係市町村との連携という記載があったと思うが、無くなっている。関係市町村との連携強化は、まさに今こそ必要ではないかと思うが、考えを伺いたい。
- 事務局 これまで、⑧広域連携という項目が入っていたが、国から示されたバージョン 3 の手引きでは、昨年 9 月からその項目が外され、都道府県が市町村を支援する事という項目に変わり、都道府県は市町村に対して保健・医療・福祉のデータを提供したり、研修の場を提供したりするなど変更された経過がある。また、現在は庄内保健所もなかなか大変な状況にあり、この業務に対し声掛けをするのは難しい状況になっているが、委員のおっしゃる通り、この連携は大切であるので項目に無くとも引き続き連携を図っていきたいと考えている。

## (2) 第 8 期介護保険事業計画の給付見込みと保険料 (案) について

(説明：資料 3 工藤 長寿介護課主事)

- 議長 保険料については市民の関心も高いと思う。増額が無かったことはプラスの要件だと思うがどうか。
- 委員 8 期の保険料が 7 期と同額だということは、それだけ努力してのことだろうと思う。これから、8 期 9 期 10 期とまた人口は少なくなっていくわけであり、その中でも低廉にしていけるようであればいいと思う。
- 議長 サービス提供の現場の方からも意見を伺いたい。保険料が増額にならないということから提供するサービスが低下するのではないかと、利用する方の立場からは不安な声など現場では出ないか。
- 委員 ケアマネジャーとして訪問させていただいている中では、具体的には総合事業の方に関しては、サービス利用ができないというか、受け入れくださる施設が本来少ないため、こちらの方で受け入れ先を探すのに苦労はしている。ただ、介護保険料に関してはここで具体的な話はできないが、今後、総合事業の方が増えていくのではないかと見込まれる中で、受け入れてくださる施設が少ないと利用ができない方が出るのではないかと懸念している。
- 議長 他には意見・質問などないか。先ほどの介護保険事業計画の素案に関しても含めての質疑でもよい。
- 委員 認知症高齢者の見守りシール「どこシル伝言板」の活用と今後の拡大の見通し、今までの結果、使った方の経験や、SOS 見守りネットワークとの兼ね合い等について伺いたい。
- 事務局 今年度 8 月から運用開始した QR コードを活用した見守りシール「どこシル伝

言板」については、現在12名の方へ交付している。その方たちのご意見を伺うと、シールがあるということだけでご家族の安心につながっているという声や、シールの枚数がもっと多い方がいいという声もある。また、シール自体についてSOSの登録者の方にお知らせはしているものの、まだ十分な周知が図られていないこともあり、このシールの効果はまだ見えてきていないため、SOSに登録した方や地域の方も含めて市民への周知を図って行かなければならないと考えている。見守る方であるこのシールを読み取る方の地域の方、市民の方への周知も十分ではないと思うし、少しずつ地域包括支援センターや地域の組織の方たちを通して説明をさせていただいたりしているが、やはりコロナの関係で集まる機会が大変減っており、見守りの大きな力となっているサポーターやキャラバンメイトの方たちには大変頑張ってもらっているが、それらの方々にも今後周知を図っていききたい。当初、見守りシールは50名ほどを予定していたが、まだ12名であり活用された事例はございません。今後、増えていく見込みはあるかと思うので、拡大を図っていききたいと考えている。

- **委員** 施策の中の大きな柱である、I 全世代型の包括的支援体制の構築については、支援体制を構築するとか、仕組みを作るという事になるかと思うが、国で示されている包括ケアシステムの図があるが、そのような図を参考にしながら、包括ケアシステムのイメージを持てるような図は、これからできていくものか。確かに国にはあるが、鶴岡独自のイメージがあるといいのではないかと思うがどうか。
- **事務局** 介護保険事業計画と同時に、現在、市の地域福祉計画も今年度策定を進めている。その計画の中に、全世代全対象型の地域包括ケアを進めるための施策としてのイメージを書き起こしているところであるので、介護保険事業計画ではなく、地域福祉計画の方に具体的なイメージ図をお示しする予定である。
- **委員** 17ページに、II-1(4)「専門職種による介護予防の機能強化」と記載されているが、私は百歳体操をしていて、リハビリテーション専門職が地域の通いの場へ関わることで、と書いてあるが、それは8期からとなるのか。
- **事務局** 現在も、管理栄養士、健康運動指導士などの職種が支援に入っているが、必要に応じて、腰が痛い人が多い地域には理学療法士を、といったような地域に合わせた支援をさらに進めていければと思っている。
- **委員** ありがとうございます。栄養士さん等の支援は、いま私たちも受けています。全体的な感想ですが、平成13年におじいさんを看取り、平成21年におばあさんを在宅で看ましたが、デイサービスやショートステイを利用して介護してきましたが、最近90代のおばあさん等を見ていると、20年前、10年前と比べるとデイサービスの利用時間も長くなっているなど、充実してきていると感じている。

#### (4) その他

特になし

#### 4. その他

○ **事務局** 計画策定における今後のスケジュールについて説明。

2月1日に副市長を委員長とする庁内の計画策定委員会を開催し、関連する他部局の部課長等の意見を諮る予定である。その後、2月下旬から3月上旬頃にかけて2週間程度、市民の皆様の意見を伺うパブリックコメントを実施する。市のホームページ上、市役所長寿介護課、各地域庁舎市民福祉課において、本日お示しした計画素案を閲覧可能とする。懇話会、パブリックコメントでいただいたご意見は、計画策定の参考とさせていただく。最終的には市長決裁の上、介護保険料の条例改正について3月定例会市議会に諮る。委員の皆様には、完成した事業計画書を4月上旬までにお届けする予定である。なお、素案と大幅に変わるようなことがある場合は、懇話会会長に説明させていただき対応させていただく事をご了承願う。

○ **委員** 先ほど、懇話会会長から新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について話が合ったが、市の職員の方も、今までに無い業務が増えると思う。人事異動もこれからあると思うが、その中で市民サービスが低下することなく、また職員の方の業務量はワクチンの対応でますます増えていく訳なので、上司の方々、部長・課長に職員の健康を第一に、また、市民サービスを低下させることなく、先ほど会長が言ったように、ここにいる委員の皆さんも、手伝えることは手伝っていくという事をお願いしたいと思う。

#### 5. 閉 会 (午後2時50分)